

第36回関西生殖発生毒性フォーラム案内（1）

第36回関西生殖発生毒性フォーラムを下記の要領で開催致します。今回は「DOHaD」を中心に企画しました。興味ある内容になると思いますので、是非ご参加下さい。また、同施設、同企業の方にもお知らせいただければ幸いです。

日時： 2015年10月24日（土）13時～17時（受付：12時30分～）
なお、事前登録は不要ですので、会場に直接お越し下さい。

会場： 武田薬品工業(株)大阪工場 体育館2階ホール
大阪市淀川区十三本町二丁目17番85号
最寄駅：阪急「十三」駅下車、徒歩5分

会費： 1500円

プログラム

1. 一般演題

- (1) 「生殖発生毒性の Adverse Outcome Pathway 解析の事例紹介」
- (2) 「胎生期にバルプロ酸を曝露されたラットの社会的行動変化」
- (3) 「腰椎異常ミュータントラット IS/Kyo 新生児にみられる心室中隔欠損の生後の修復性及び心機能に及ぼす影響」

2. 教育講演（1）

「精神発達障害をめぐるエピジェネティクスからみた環境と遺伝子応答」
久保田 健夫 先生（山梨大学）

3. 教育講演（2）

「妊娠前期母体低栄養が及ぼす仔成獣の絶食応答反応への影響について」
佐藤 憲子 先生（東京医科歯科大学）

気軽な服装でご参加下さい。なおフォーラム終了後、2時間程度の懇親会を予定しております。

